

## 芸術・デザインは、社会にどういった変化を起こせるのか!?

私たちにとってかけがえのない故郷である地球。この惑星の資源は有限です。20世紀のように「モノの使い捨て」が当たり前の時代は終わりを告げ、「3つのR」(リサイクル、リユース、リデュース:再生、再利用、減量)が基調となるエコな時代を迎えています。

私たちの身の回りを見てみると、環境に配慮した製品が急速に増えていることに気づかされます。自動車業界で売れているのは、軽自動車とハイブリッド車です。ボディは滑らかな流線型のものも多く、燃費向上に貢献しています。また、冷蔵庫やエアコンの消費電力は10年ほど前と比べ、劇的に改善しています。

家電製品の梱包材も発泡スチロールから再生紙を立体造形したものに変わり、シャンプーや洗剤も「詰め替え用」を使う人が増えています。ペットボトルは薄くても強度を保つ形状になり、PET素材を原料にしてフリースなどが作られています。

実は、こうしたトレンドの牽引役がデザイナーなのです。クライアント(顧客企業)のニーズ、社会の要請に応じて、「環境にやさしく機能的なモノ」を創っていくのもデザイナーの役割。

本学、空間演出デザイン学科 教授であるナガオカケンメイ氏の提唱する、長く愛され、使われ続けるものをつくる「ロングライフデザイン」という言葉も耳にする機会が増えました。

「もったいない」という日本の伝統精神を活かし、ものを大切に作る心がこもっています。

「デザイン」とは、「限られた資源を最大限に活用する人類の知恵」と言うこともできそうです。

「アート」も同じこと。「大きいことは良いことだ」「the more, the better」という価値観は過去のもの。まったく同じ素材を使っても、美しいもの、カワイイもの、素敵なのが、心を豊かにし、人々を幸福にします。

東日本大震災の被災地(復興地)においても、さまざまなアーティストが活躍し、地域の再生、まちづくりに取り組んでいます。世界中の紛争地域では、アートセラピーのワークショップが、和解不可能と言われた人々の心をつないでいます。

人類の未来は、政治家や経営者よりも、むしろ、アーティストやデザイナーの双肩にかかっているのかも知れません。

京都造形芸術大学教授  
創造学習センター長

本間 正人

教育学を超える「学習学」を提唱し、NHK教育TVでビジネス英語を担当。一流企業でコーチングの講師を歴任。著書63冊。東京大学文学部卒、ミネソタ大学からPh.D.取得。



## 保護者の皆さまも、ぜひオープンキャンパスにご来場ください。

保護者の皆さまを対象にした特別授業を用意いたしました。ぜひ一緒にご来場いただき、特別授業にご参加ください。

1日体験入学オープンキャンパス A日程 6月14日(日)9:40~16:30

1日体験入学オープンキャンパス B日程 7月12日(日)9:40~16:30



### ◆保護者の皆さま対象 特別授業(午前の部/10:10~11:40、午後の部/13:00~14:30)

#### 問題解決能力が飛躍的に向上する『芸術的思考』を学ぶ (午前の部/10:10~11:40)

「芸術を学ぶ意味ってあるの?」と、考えてしまうことがあるかもしれません。しかし、芸術を学ぶと社会や仕事の現場に必要な「問題解決能力」が飛躍的に向上するのです(※正確に言うと「正しく芸術を学ぶ」という条件付きで)この授業では、身近でわかりやすい題材をもとに、問題解決能力が飛躍的に向上する芸術的思考を手にしていただこうと思います。「芸術を学んで、見方や考え方が変わった!」という瞬間を保護者の皆さまもぜひ体験してみてください。

※この授業は、A日程とB日程の授業内容は異なります。ぜひ両日程ご参加ください。

#### 芸術大学で進路・就職を決めるために必要なこと。

こどもの進路実現を左右する保護者の働きかけもお教えします。  
(午後の部13:00~14:30)

「大学生の就職状況」を多くの人はイメージで語っています。芸術大学で進路・就職を決めるためには、どんな4年間を過ごせば良いのか。そのポイントを、普段保護者の皆さまが新聞やテレビや高校では絶対に聞かれない数字を元にわかりやすくお伝えします。また、お子さまの「高校・大学での成長」を左右する保護者の皆さまの働きかけのポイントについてもお伝えいたします。

※この授業は、A日程・B日程いずれも同じ内容となります。

次号vol.3は7月上旬発行予定/特集「受験前に何を意識するべきなのか?」

# 保護者の皆さまへ

正解がない時代を生き抜くために、進化する芸術大学

【特集】  
芸術・デザインに  
未来はあるのか?



